

地域社会とのコミュニケーション(企業市民活動)

東京エレクトロングループでは、国内外における地域社会との共存を目指し、地域社会とともに発展していきます。

企業市民活動についての考え方

当社グループでは、「社会に対し、常に規律を守り、協力的でありたい」「社会の健全な発展のために協調することが我々の義務である」という考え方のもと、国内はもちろん、海外においても様々な企業市民活動を展開しています。

今後も地域社会との信頼関係を築きながら、ともに発展していきます。

「工場見学会」開催(日本)

東京エレクトロンAT株式会社、東京エレクトロン東北株式会社、東京エレクトロン九州株式会社では、地域の皆様とのコミュニケーションを積極的に推進し、事業所の活動を理解していただくため、近隣の皆様向けに工場見学会を開催しています。工場見学会では、工場だけでなく社員食堂なども見学いただいております。毎回多くの皆様にご参加いただいております。見学会に参加された方々からは好評をいただいております。今後もこ



工場見学会の様相

ういう機会を増やし、地域とのコミュニケーションを深めて欲しいなどの声がありました。

今後もこのような活動を通じて、地域との共存を図っていきます。

Take Our Daughters And Sons To Work(米国)

Tokyo Electron U.S. Holdings, Inc.では、2003年から「Take Our Daughters And Sons To Work」という社員の子どもたち(8歳~12歳)を職場へ招待するイベントを年に一度開催しています。子どもたちは、このイベントの体験学習などを通じて、働き方や世界の文化について互いに話し合います。それにより、多様な文化背景を持つ人たちが共に働いているということを感じ、お互いの文化を理解し尊重しあうことの大切さを学んでいます。

体験学習には様々なプログラムがありますが、その一つに、資源の大切さについて学ぶものがあります。子どもたちへ、省資源や再利用などについての説明を行い、その後チームに分かれて20分間でリサイクル品を使ってロボットをつくります。リサイクル品には使用済みのペットボトル、食べ終わったお菓子の袋、ガムの包み紙、使用済みのマウスや携帯電話などがあります。その後子どもたちは、それぞれが作成したロボットを発表

Take child to work



し、勝ったチームが表彰されます。

また、安全に関するレクチャーもあります。子供たちの理解をさらに深めるため、レクチャー後は、チームごとに分かれてゲーム形式で質問に答えていきます。

そのほか、日本の玩具に触れてもらったり、算数や理科について学んだりします。このイベントでは他文化への理解以外にも、グローバル企業で働くことに対する理解、親の仕事への関心、社員にとっては自身の士気向上などにもつながっています。

大学生向け会社見学会(台湾)

Tokyo Electron Taiwan Limitedでは、2008年6月24日に高雄大学の学生を対象に会社見学会を開催しました。半導体の基礎知識やトレーニング用の装置を使ってレクチャーを行い、少しでも半導体製造装置業界の理解を深めてもらうという主旨の活動です。今後も積極的にこのような活動に力を注いでいきます。

クリスマス慈善活動(ヨーロッパ)

Tokyo Electron Europe Limited (TEE)では、恒例のクリスマスパーティーで、チャリティくじ引き大会を行っています。今年はロッキングホース・チャリティが寄付先選ばれました。ロッキングホースは、TEEオフィスのあるサセックス州の医療施設にいる子どもたちに多くの生命維持装置を寄贈している団体で、その数はNHS(イギリスの国営保健医療制度)からの寄贈数を超えています。取引先にこのチャリティへのサポートを呼びかけたところ、テレビ、携帯電話、19インチのPCスクリーンなど、合計36点の豪華賞品が寄せられました。くじ引き用のチケットはパーティー



クリスマス慈善活動

地域社会とのコミュニケーション(企業市民活動)

当日まで社員に販売され、617ポンドが集まり、これにTEEが同額を拠出して、合計1,234ポンドが、12月11日にロックングホースの方へ手渡されました。今後もこのような活動に力を注いでいきます。

森林環境フェスタ2008に協賛(日本)

東京エレクトロン九州株式会社(TKL)は、2008年3月9日に鳥栖市河内町で開催された第1回森林環境(エコ)フェスタ2008に協賛しました。

これは鳥栖市森林組合主催のイベントで、鳥栖市民約220名とTKL社員46名が参加し、広葉樹(サクラ、ツバキ、クヌギ、ヤマボウシ、モミジなど)を中心に1,400本もの植樹を行いました。植樹の後には、樹齢約50年で高さ30mのケヤキをチェーンソーで伐採するパフォーマンスがあり、短く切った木をお土産に持ち帰る人もいました。

今後も、環境保全活動を積極的に推進していきます。

東京エレクトロン九州株式会社 植樹活動(日本)

東京エレクトロン九州株式会社(TKL)は、2008年3月15日に阿蘇の俵山にて植樹活動を行いました。この植樹活動は今回で3回目となり、228名の社員とその家族が参加し、1,000本の植樹を行いました。今後も継続していくため、植樹した土地の北側に新しく1.5ha(5年分)の場所を確保する保全協定を締結する予定です。TKLは、今後も引き続き水資源涵養植林活動を継続していきます。



植樹活動

事業所近隣の美化活動

東京エレクトロングループは、近隣の美化活動として、各事業所周辺の清掃活動や植花活動を行っています。今後も地域の美化活動を推進していきます。

【Adopt-a-Street(米国)】

Tokyo Electron U.S. Holdings, Inc. は、道路の清掃活動を通して、その道路の所有者として公認された米国オースチン市初の企業です。2003年には「Keep Austin Beautiful Award*」を受賞しました。また当プログラムへの貢献が評価され、同年「Keep Texas Beautiful Award」も受賞することができました。

※Keep Austin Beautifulとは、オースチンの非営利団体で、毎年環境に配慮した活動を行っている個人や組織を表彰しています。この表彰は、地域の美化、清掃活動、ごみの減量などに大きな貢献をした組織に与えられるものです。

韓国西海岸原油流出地域のボランティア活動(韓国)

Tokyo Electron Korea Limitedでは2008年1月3～4日、社員総勢51名で、韓国西海岸原油流出地域の油を除去するボランティア活動を行いました。



ボランティア活動の様子

この事故は、2007年12月7日に韓国西側の「テアン」地域海上で、曳き船と引かれていた船舶をつないだ線が切れ、引かれていた船舶が油送船に接触し、原油1万5千リットル(推定)が流出した事故で、当初は、砂利と岩は原油付着のため黒くなり、異臭を放っている状況でしたが、社員一同力を合わせて2日間除去作業を行いました。今後も地球環境の保全に貢献してまいります。

30人31脚全国第3位の胆沢第一小学校へマットを寄贈(日本)

東京エレクトロン東北株式会社は、2008年2月29日、30人31脚で全国第3位の奥州市立胆沢第一小学校(岩手県)を訪問し、30人31脚や体育で使用するマットを寄贈しました。贈呈式の後には、社員が30人31脚で小学生に挑戦する機会もありました。贈呈されたエアーマットで大喜びの子どもたちがとても



印象的でした。今後も社員一丸となり、永続的な事業の発展とともに、地域への貢献に取り組んでいきます。

30人31脚メンバー